

# 資料 3

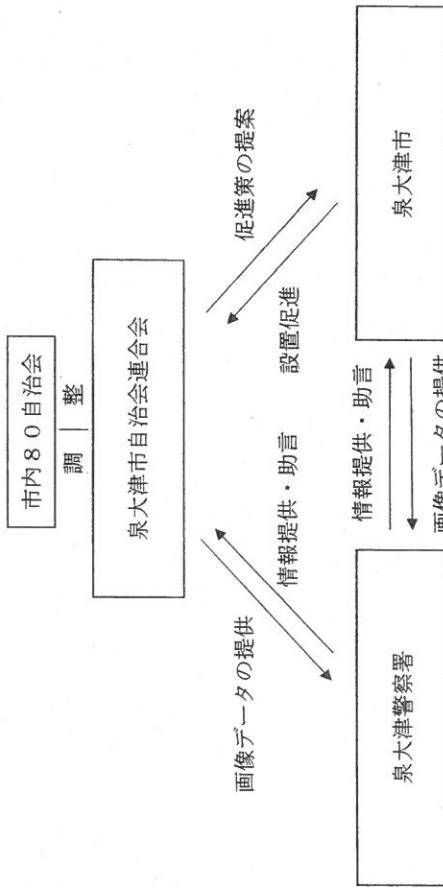
「自治会連合会」、「泉大津警察署」、「泉大津市」の3者による地域防犯カメラ設置促進、運用に関する協定（概要）

（目的）

「誰もが住み続けたい安全で安心なまち泉大津」の実現のため、市内に設置するカメラの設置促進及び運用に関して、甲、乙及び丙が相互に連携・協力関係を構築し、もつて市民の安全確保に寄与とともに、地域社会の発展に資することを目的とする。

（連携協力の内容）

泉大津市・・・促進施策の実施  
泉大津市自治会連合会・・・自治会間の調整、促進施策の提案  
泉大津警察署・・・画像データの活用、情報提供、助言



（運用における手続き）

円滑に画像データを活用するための事務手続き及びデータ取出し方法などを定める。

（取決めの証）

取決め事項を証するため、協定書を作成し、3者が署名の上、各自1通を保有する。



## 泉大津市における地域防犯カメラの設置促進及び運用に関する協定書

に対しても、速やかな削除を要請する。

(その他)

泉大津市自治会連合会（以下「甲」という。）、泉大津警察署（以下「乙」という。）

及び泉大津市（以下「丙」という。）は、泉大津市における地域防犯カメラ（以下「カメラ」という。）の設置促進及び運用に關し、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、「誰もが住み続けたい安全で安心なまち泉大津」の実現のため、市内に設置するカメラの設置促進及び運用に關して、甲、乙及び丙が相互に連携・協力關係を構築し、もって市民の安全確保に寄与するとともに、地域社会の発展に資することを目的とする。

（役割）

第2条 甲、乙及び丙は、前条の目的を達成するために相互に協力するものとし、それぞれの役割は、次のとおりとする。

- (1) 甲は、カメラ設置促進にかかる提案及び単位自治会との調整を行う。
- (2) 乙は、カメラの設置場所について甲及び丙からの求めに応じ必要な助言を行ふ。
- (3) 丙は、カメラ設置を促進する施策を講じるよう努めるとともに、甲及び乙に對し必要な情報の提供を行う。

（画像利用申請）

第3条 乙が、犯罪捜査のため、甲又は丙が所有するカメラの画像（カメラにより撮影・録画された映像情報をいう。以下同じ。）を必要とする場合は、甲又は丙に對し、あらかじめ捜査關係事項照会書を提出し、甲又は丙の承認を得るものとする。この場合におけるカメラに内蔵された記録媒体の取り出しについては、甲又は丙の求めに応じて、厳重な管理のもと乙が対応する。

（画像の外部提供）

第4条 乙は、取り出した画像を甲又は丙の承認なく外部に提供してはならない。ただし、他の捜査機関から適式な要請があつた場合は、この限りでない。

（画像の削除）

第5条 乙は、取り出した画像が不要になつた場合は、速やかに削除しなければならない。この場合において、乙は、前条ただし書きにより提供した他の捜査機関

第6条 この協定書に定めのない事項又は疑義が生じた事項については、その都度、甲、乙及び丙が協議して處理する。

- 2 本協定の締結を証するため、本協定書を3通作成し、甲、乙及び丙が署名押印の上、各自1通を保有する。

甲 泉大津市東雲町9番12号

（泉大津市役所内）

泉大津市自治会連合会

平成27年10月15日

会長

乙 泉大津市田中町2番12号

泉大津警察署

署長

丙 泉大津市東雲町9番12号

泉大津市

市長

## 泉大津市地域防犯カメラ設置等補助金交付要綱

### (目的)

第1条 この要綱は、自治会で行われる自発的な防犯活動を支援するため、防犯カメラを新たに設置する自治会に対し、その設置等の費用の一部を補助することにより、子どもや女性を対象とした犯罪等の未然防止を図り、もって犯罪のない安全・安心なまちづくりを推進することを目的とする。

### (定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるとところによる。

(1) 防犯カメラ 一定の区域における街頭犯罪等の未然防止を図るために不特定多数の者が利用する場所に向けた常設する映像撮影装置で、映像を記録する機能を備えたものをいう。

(2) 自治会 市に自治会としての届出があつた団体をいう。

### (補助対象者)

第3条 この要綱により補助金の交付を受けることができるものは、自治会とする。

### (補助対象の要件)

第4条 防犯カメラを新たに購入し、設置する場合にあつては、次の各号に掲げる要件のいずれにも該当するものとし、防犯カメラを修理する場合にあつては、この要綱による補助を受けて設置した防犯カメラの修理に伴うものとする。

(1) 防犯カメラの設置場所については、子どもや女性を犯罪から守り、街頭犯罪を未然に防ぐため、可能な限り泉大津警察署の助言を受けること。

(2) 泉大津市における防犯カメラの設置及び運用に関するガイドラインに適合する防犯カメラの管理運用に関する規程を策定すること。

(3) 防犯カメラの撮影対象区域内の住民等の同意を得ること。

(4) 防犯カメラの設置を示す看板を取り付けること。

(5) 防犯カメラは、継続して6年以上設置すること。

### (補助対象経費)

第5条 補助金の交付の対象となる経費は、防犯カメラを新たに購入し、設置する場合における費用のうち、次の費用及びこの要綱による補助を受けた費用とする。

- (1) 防犯カメラの購入費
- (2) 専用ポール設置工事費
- (3) ケーブル設置工事費
- (4) 防犯カメラの設置を示す看板及び防犯カメラの設置地域であることを示す看板等の設置費
- (5) その他防犯カメラの設置に要する費用。ただし、保守費及び電気料金等の維持管理費を除く。

### (補助金の額等)

第6条 補助金の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に掲げる額とする。

- (1) 防犯カメラの設置 前条各号に係る経費の合計額に2分の1を乗じて得た額(その額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額)とし、防犯カメラ1台当たり15万円を限度とする。
- (2) 防犯カメラの修理 修理に要した費用に2分の1を乗じて得た額(その額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額)とし、防犯カメラ1台当たり3万円を限度とする。

2 この要綱による補助金の交付は、毎年度予算の範囲内において行う。

### (交付申請)

第7条 自治会の代表者は、補助金の交付を受けようとするときは、泉大津市地域防犯カメラ設置等補助金交付申請書(様式第1号)に、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に掲げる書類を添えて、市長に提出しなければならない。

- (1) 防犯カメラの設置に伴うもの
  - ア 防犯カメラ設置(予定・完了)箇所一覧表(様式第2号)
  - イ 防犯カメラの設置予定箇所の位置図及び現況写真
  - ウ 防犯カメラの撮影対象区域を記載した平面図
  - エ 防犯カメラの購入等に係る見積明細書の写し
  - オ 防犯カメラの概要が分かるカタログ等の書類
- カ その他市長が必要と認めるもの

- (2) 防犯カメラの修理に伴うもの
- ア 防犯カメラの設置箇所の位置図及び現況写真
  - イ 防犯カメラの修理に係る見積明細書の写し
  - ウ その他市長が必要と認めるもの
- (補助金の交付決定等)
- 第8条 市長は、前条の申請書の提出があったときは、その内容を審査し、補助金を交付すべきものと認めたときは、交付の決定をし、泉大津市地域防犯カメラ設置等補助金交付決定通知書（様式第3号）により当該申請書を提出した者に通知するものとする。
- 2 市長は、補助金の交付を決定する場合において、補助金の交付の目的を達成するため必要があると認めるとときは、条件を付すことができる。
- 3 市長は、補助金の交付を行わないことを決定したときは、その旨を泉大津市地域防犯カメラ設置等補助金不交付決定通知書（様式第4号）により当該申請書を提出した者に通知するものとする。
- （申請の取下げ）
- 第9条 前条第1項の補助金交付決定を受けた者（以下「補助事業者」という。）は、補助金交付の申請を取り下げようとするときは、遅滞なくその旨を記載した書面を市長に提出しなければならない。
- （補助事業内容の変更）
- 第10条 補助事業者は、交付申請した内容を変更しようとするときは、必要な書類を添えて、泉大津市地域防犯カメラ設置等補助変更届（様式第5号）を市長に提出しなければならない。
- （設置及び修理完了の報告）
- 第11条 補助事業者は、防犯カメラの設置又は修理が完了したときは、防犯カメラ設置等完了報告書（様式第6号）に、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ該各号に掲げる書類を添えて、当該防犯カメラの設置又は修理が完了した日の翌日から起算して30日以内に市長に提出しなければならない。
- （1）防犯カメラの設置に伴うもの
- ア 防犯カメラ設置（予定・完了）箇所一覧表（様式第2号）
  - イ 防犯カメラの設置に係る契約書又は請負書
- （2）防犯カメラの修理に伴うもの
- ア 防犯カメラの設置費用の支出に係る証拠書類
  - イ 防犯カメラの管理運用に関する規程
  - キ 防犯カメラ設置後の現況写真及び防犯カメラの撮影状況を示す写真
- （3）その他市長が必要と認めるもの
- ク その他市長が必要と認めるもの
- （2）防犯カメラの修理に伴うもの
- ア 防犯カメラの修理費用の支出に係る証拠書類
  - イ その他市長が必要と認めるもの
- （補助金の確定）
- 第12条 市長は、前条の報告書の提出があつたときは、その内容を審査し、その報告の内容が補助金の交付の決定の内容（これに条件を付した場合にあつては、その決定の内容及び条件）に適合すると認めたときは、交付すべき補助金の額を確定し、泉大津市地域防犯カメラ設置等補助金額確定通知書（様式第7号）により補助事業者に通知するものとする。
- （補助金の交付請求）
- 第13条 前条の規定により補助金の額の確定の通知を受けた補助事業者は、補助金の交付の請求をしようとするときは、泉大津市地域防犯カメラ設置等補助金交付請求書（様式第8号）を市長に提出しなければならない。
- 2 市長は、前項の請求書の提出があつたときは、当該請求書の提出があつた日から起算して30日以内に補助金を交付するものとする。
- （交付決定の取消し）
- 第14条 市長は、補助事業者が次の各号のいずれかに該当するときは、補助金の交付決定の全部又は一部を取り消すことができる。
- (1) 偽りその他不正の手段により補助金の交付を受けたとき。
  - (2) 补助金を他の用途に使用したとき。
  - (3) 补助金の交付決定に付した条件に違反したとき。
- （補助金の返還）
- 第15条 市長は、前条の規定により交付決定を取り消した場合において、当該消しに係る部分に關し既に補助金が交付されているときは、期限を定めて、その

返還を命じることができること。

(報告)

第16条 市長は、補助金を交付した後、必要があると認めるとときは、補助事業者に報告を求めることができる。

(その他)

第17条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行について必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成27年6月22日から施行する。

## 犯罪防止

**①課題の抽出** [「主観的課題」…日々から感じている問題  
〔客観的課題〕…統計データから分かる問題]

【主観的課題】

- ・異常に明るい場所と暗い所の差がある
- ・防犯カメラがまだ少ない
- ・自転車のカギを閉めていない
- ・駅周辺やコンビニ等に中学生等がたむろしているなど

【客観的課題】

- ・刑法犯、窃盗犯、認知件数が全国平均より高い
- ・犯罪対策を取っていない方がほとんどである
- ・凶悪犯が低下するも粗暴犯が異常に増加
- ・自転車関係の犯罪が目立つなど

**②重点課題の設定**

防犯活動に取り組んでいる人が少ない	夜道が危険	自転車盗などの街頭犯罪が多い
<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>

**③方向性・対象の設定**

防犯意識の向上	夜間犯罪の抑制	自転車盗の抑制
(検討中)	女性子ども	若い世代

■客観的課題の根拠となった主なデータ(抜粋)

年	全国	大阪府	泉大津市
2009年	80	85	44
2010年	75	78	45
2011年	65	68	46
2012年	55	58	47
2013年	45	48	48

※「粗暴犯」とは、暴行、脅迫、恐喝、凶器準備集合を指す。

14

**犯罪防止**

**④対策委員会での取組み** ※カッコ内のアルファベットは、対応する重点課題を示す。

○一戸一灯運動(B)【新規】

夜間の暗がり解消の対策として、モデル地区を設定し、アンケート調査や委員会等による暗がり調査の結果を基に、各家庭の門灯等でまちを明るくする一戸一灯運動を推進します。

取組中

○防犯カメラ・防犯灯の設置促進(B、C)

暗く危険と判断された場所への防犯灯設置を地域自治会と連携して呼びかけます。また、市の補助事業を活用した防犯カメラの設置を促進しています。

○安まちメールの普及促進(A)

警察署が実施する地域の犯罪発生状況と防犯対策の情報提供サービス「安まちメール」の登録を促進します。

実施案



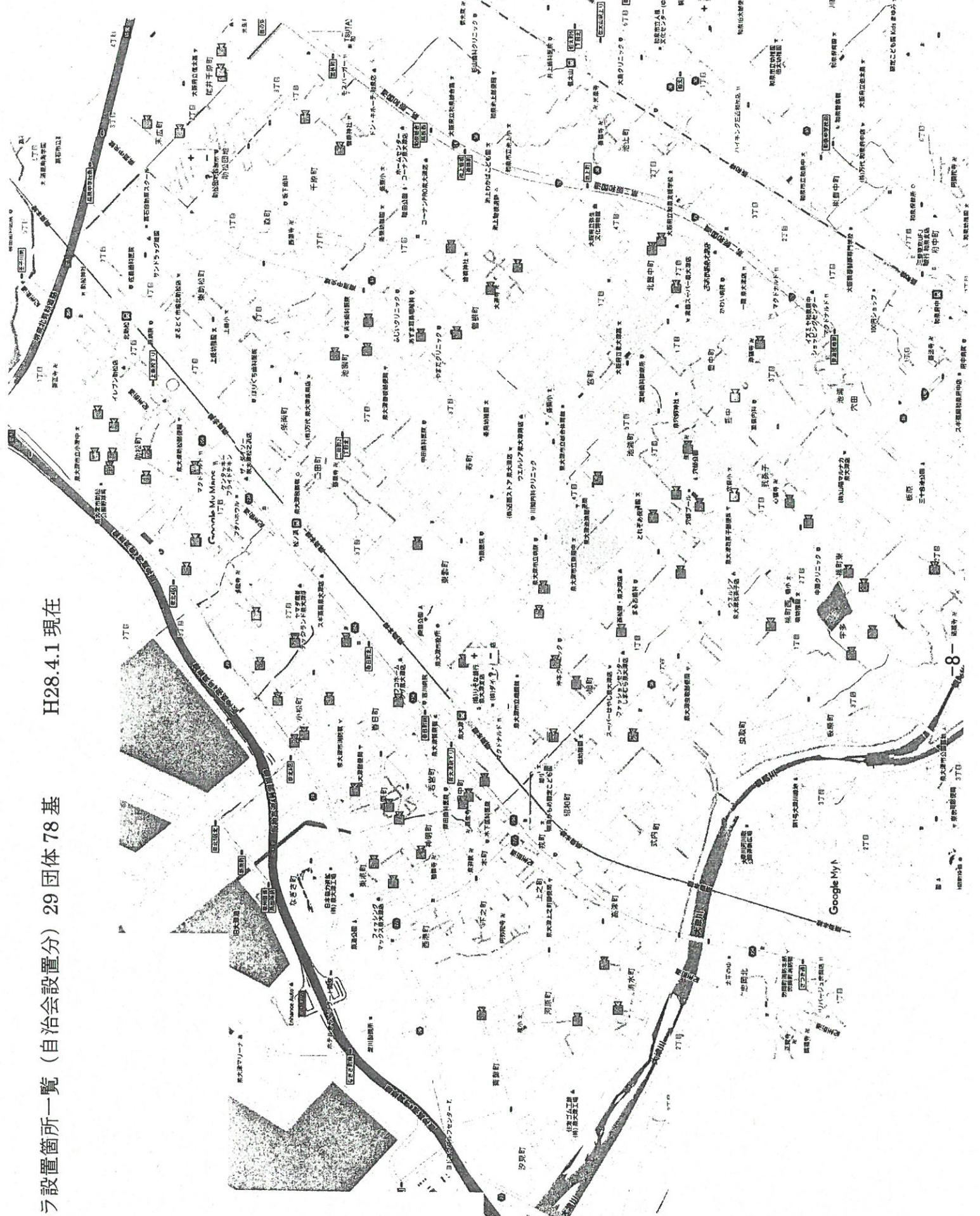
防犯カメラには犯罪の抑止効果も期待されています。設置場所には人の目に触れやすい箇所に設置を示す板を併設しています。防犯カメラは24時間作動しており、犯罪発生時には、公的機関等からの協力体制により撮影された画像が提供されます。

オール泉大津で防犯カメラ設置促進！－三者協定を締結－

平成27年10月15日（木曜日）に泉大津市穴師公園において市内80の自治会が加盟している泉大津市自治会連合会・泉大津警察署・泉大津市3者が「地域防犯カメラの設置促進及び運用に関する協定書」を締結しました。

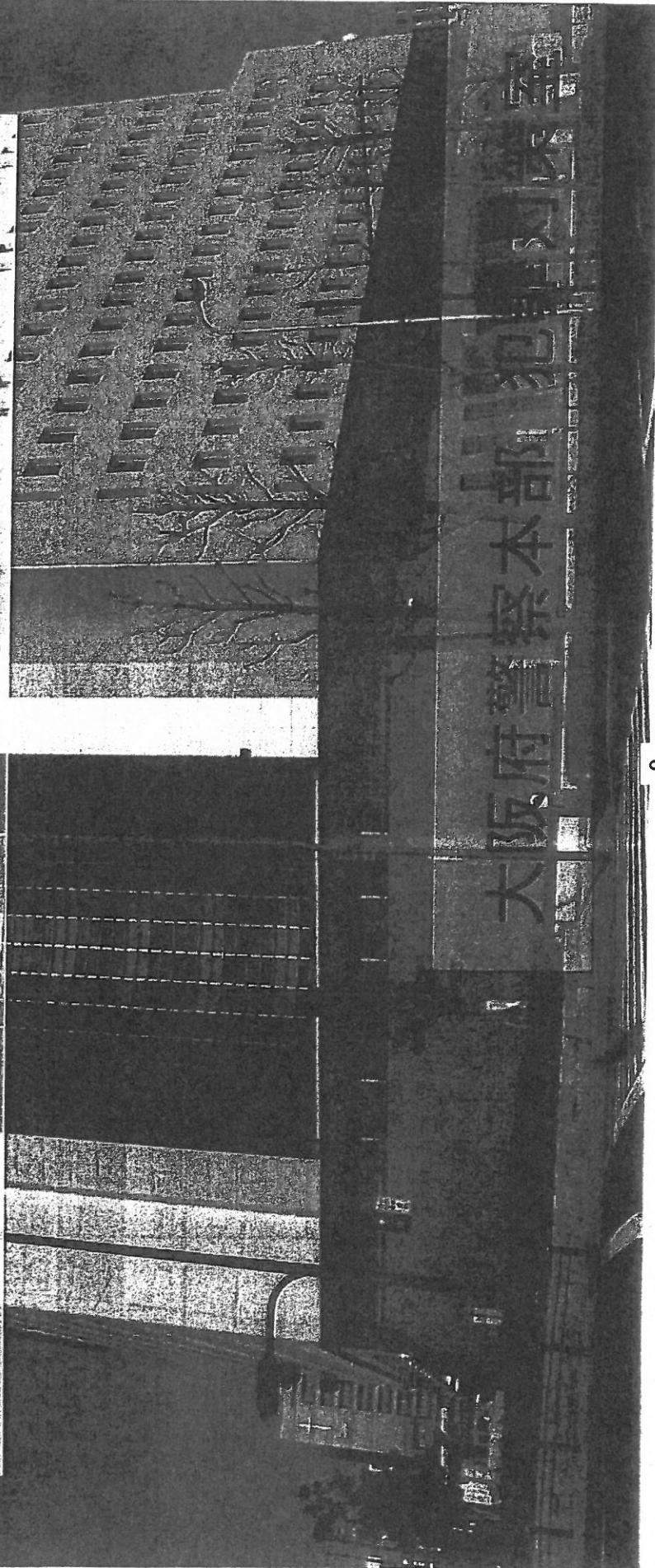
## 防犯カメラ設置箇所一覧（自治会設置分）29団体78基

H28.4.1 現在



資料

防犯力  
本邦書  
大正元年  
著者不詳  
甲子年



## 1 防犯力カメラ抑止効果実例(子ども見守りカメラ)

大阪府下

認知件数		増減
	21年3月～22年2月	
全刑法犯	162,197	- 18,436 -10.2%
街頭犯罪総数	78,306	- 14,513 -15.6%

寝屋川警察署管内全域

認知件数		増減
	21年3月～22年2月	
全刑法犯	4,189	- 4,293 -104 -2.4%
街頭犯罪総数	2,164	- 2,492 -328 -13.2%

子ども見守りカメラ設置地区内

認知件数		増減
	21年3月～22年2月	
全刑法犯	291	- 348 -57 -16.4%
街頭犯罪総数	146	- 180 -34 -18.9%

1 中学校区(寝屋川市立第三中学校)内に防犯カメラ25台を設置し、犯罪抑止効果を検証した結果、犯罪抑止効果が顕著。

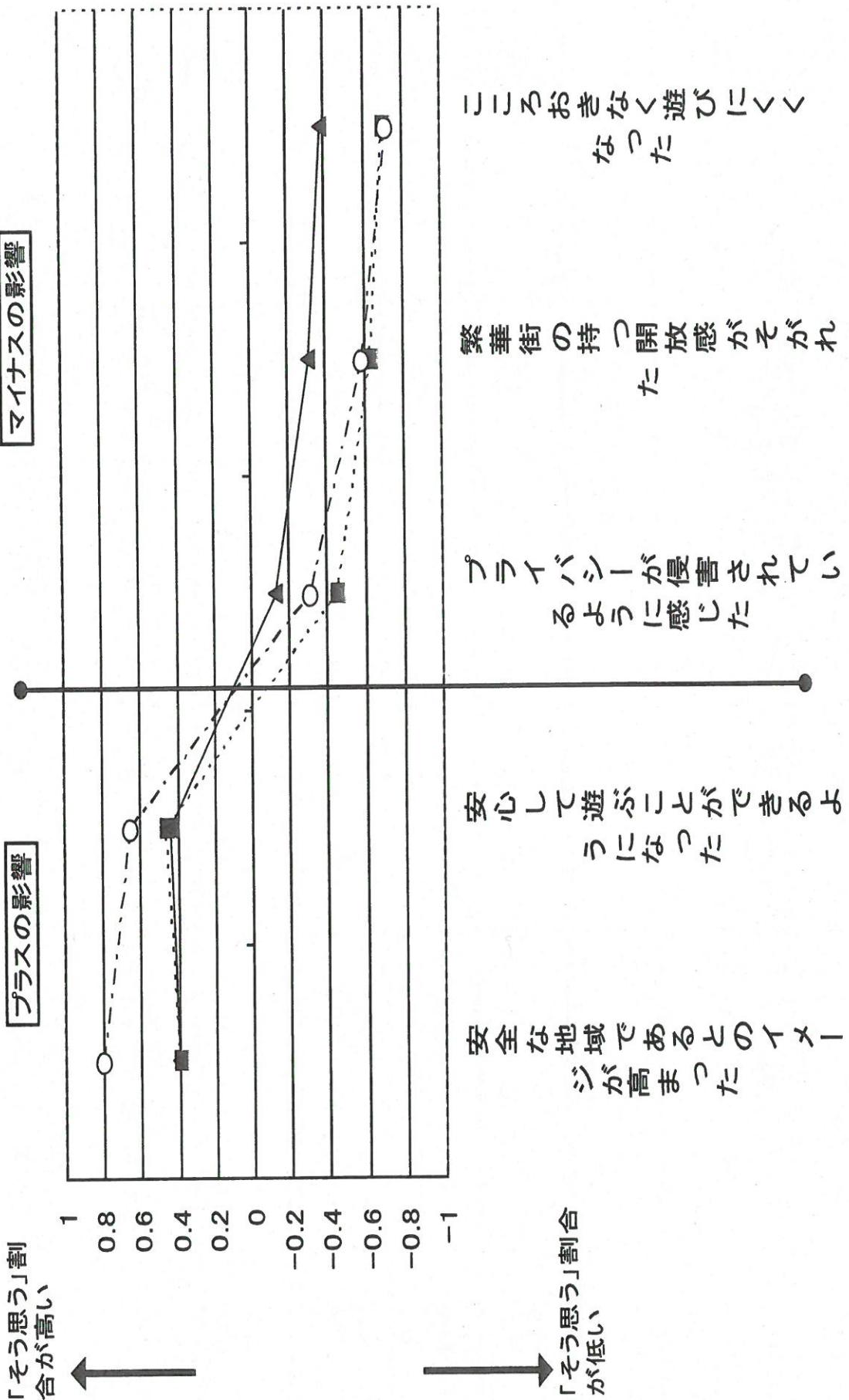
## 2 防犯カメラの設置に関する住民アンケート

	賛成	反対	どちらともいえない	未回答
男性	98	91%	6	5% 4 4%
女性	111	95%	0	0% 6 5%
不明	69	94%	0	0% 4 6%
合計	278	93%	6	6% 14 5% 0 0%

(出典 黒山警察署防犯協議会調査実施 H21年2月・対象 298人)

この調査では、9割を超える住民が防犯カメラ設置に賛成  
防犯カメラの設置に対する住民の期待度は極めて高く、効果  
も期待

## 設置1年後の意識コア



すすきの地区(n=190) —▲— 中洲地区(n=190) —○— 博多駅前通・住吉等地区(n=190)

### 3 防犯カメラ設置地区・周辺地区の影響（仮説）

- ① 地理的転移・・・設置地区では犯罪が減少するが、周辺地区では増加。犯罪者が犯行場所を変える。



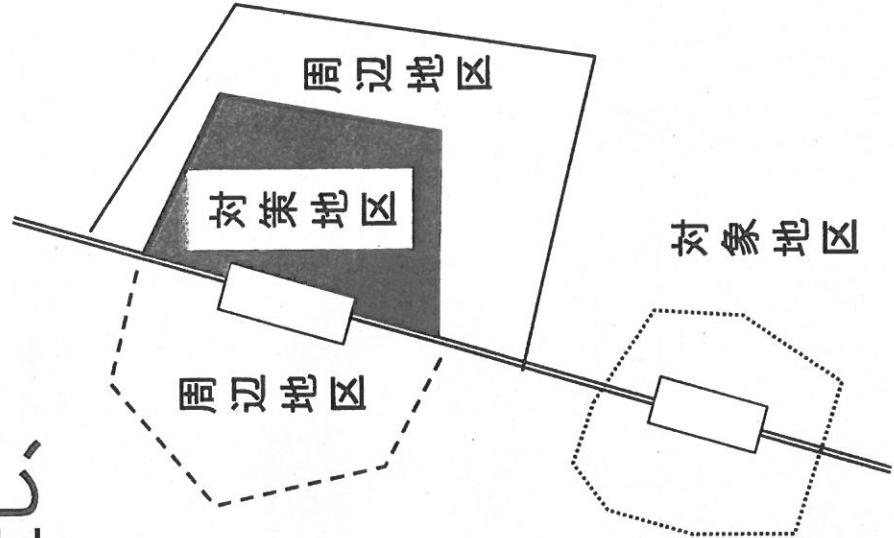
- ② 利益の拡散・・・設置地区では犯罪が減少し、周辺地区でも減少。周辺地区でも犯罪を思いとどまる。



## 4 防犯カメラ設置地区・周辺地区の影響【検証】

### 川崎駅東口及び周辺検証

川崎駅東口に50台の防犯カメラを設置し、「設置地区」「周辺地区」「対象地区（他駅周辺）」における5手口を分析。



#### ① 認知件数

川崎署全体 : -25.9%

設置地区 : -31.2%

設置地区以外 : -19.2%

#### ② 結果

効果は介入強度（台数、設置場所から  
の距離）に依存する。

## 5 防犯カメラ設置後における効果の推移

### ○ ひつたくり・路上強盗

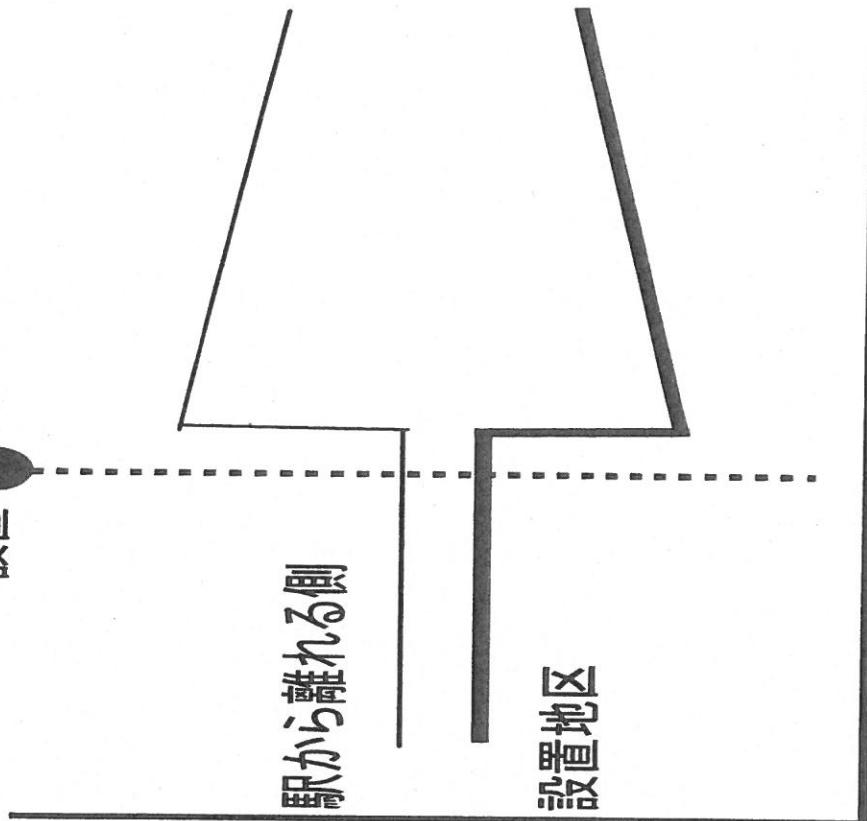
- 設置直後は、カメラ密度が高っぽいほど認知減少幅が大きい。

設置

認知件数

駆から離れる側

設置地区



- 設置効果は徐々に減少する。

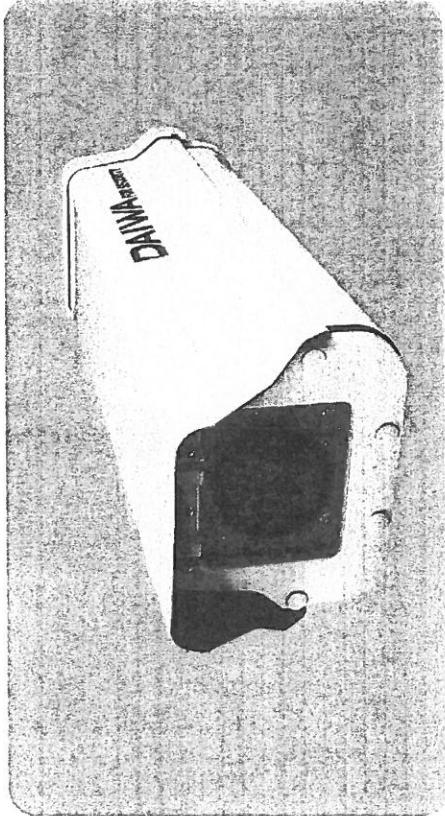
年付日





**SDカード録画機能付カメラ (DC12V)  
防水型赤外線付デイナイト対応**

SD-606IR  
取扱説明書



三  
世

- SD カード録画機能(常時、イベント、スケジュール、手動、上書き)
  - オンスクリーンディスプレイ(OSD)機能にプライバシーマスク 8 ゾーン設定可能
  - 電源入力は AC アダプター又は専用電源より供給
  - イベント設定時 0~10 秒のブリーフ録画設定が可能
  - 960H(960 × 480)解像度の録画に対応
  - ディナイト機能付 (IR カットフィルタ方式)
  - 補助モニタ出力端子 (MONITOR OUT)付
  - 水平解像度: 1000TVL
  - 最低被写体照度: 0.01LUX
  - 赤外線 LED 30 個付
  - OSD メニュー機能付
  - 輪郭補正機能付
  - フレカレス機能付
  - 逆光補正機能付
  - 3D-DNR 機能付

仕様

仕様	SD-606IR
有効画素数	48万画素 976(H) x 494(V)
イメージセンサー	1/3"CCD
映像信号方式	N/TSC方式
映像出力	1.0Vp-p / 75Ω
走査方式	2.1インチーレース方式
倍率	水平100TV本
S/N比	52dB以上(AGC OFF)
同期方式	内部同期
最高被写物体照度	0.01lux F1.2 (SENSUP AUTO : 0.00002lux)
プリカーレス機能	シャッターチェンジにて対応
ディナート機能	ON/OFFリカットフィルター方式
シャッター	AUTO、FLK、MANUAL(1/60~1/100000、x2~x256)、1/60
AGC	HIGH、MIDDLE、LOW OFF
SENSUP	AUTO(x2~x256)、OFF
逆光補正機能	DWDR、BLC、HSBLC、OFF
ホワイトバランス	自動追尾型、自動調整型、AVIC、詳細設定、室内、室外
ディナーアイ	AUTO、カラー、B/W、外節
SMART 3DNR	ON/OFF
モーション	モーション(エリア4ケ所)
プライバシーフィルム	ON/OFF(エリア8ケ所)
手ブレ補正	ON/OFF
反転	水平、垂直、水平垂直、OFF
言語	日本語(全16ヶ言語)
レンズ	13V211ASIR(2.8mm~11mm F1.4)※実効値3.0mm~11mm
監視角度	水平(H) 81.2~24.6°、垂直(V) 65.41~18.5°
レンズマウント	CSマウント
マイク	無
I/Oセンサーエンタ	無電圧接点(N.O.N.C切替可) TTL x 1
アラーム出力	オープンコレクタ出力 x 1(エラーポン)検出
録画メディア	SDカード：1GB~32GB(SDHC)、64GB~128GB(SDXC)
録画時間	960 x 480 720 x 480、360 x 240 / 1~30fps
モード	常時、イベント、スクショーラー、手動、上書き、停止
モーション検出	範囲及び感度設定可
再生	再生、早送り、コマ送り、早戻し、コマ戻し、一時停止
スピード	x1/x2/x4/x8/x16/x32
ステータスLED表示	LED(赤色):録画状態表示、点灯:録画中及び待機中 点滅:SDカード異常、未挿入及びフォーマット中、消灯:録画停止中
電源	DC12V
消費電流	270mA(最大値 610mA)
動作温度 / 湿度	-10°C~50°C / 90%以下
外形寸法 / 質量	140(W) x 108(H) x 370(D)mm / 1.6kg
入出力端子	映像: BNC(W)、電源: DC12V、アラーム: 電子 リモコン: ブラケット取付用ナット、ベース、六角穴ボルト、六角穴ナット、ケーブル入り端子
付属品	リモコン

使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。  
また、必要なときに読めるよう大切に保管して下さい。

- 安全上のご注意 この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使い頂き、お座様への危害や財産への損害を未然に防止するための説明文を使用しています。なお本機は、事件や事故を未然に防ぐものではありませんのでご理解願います。

裁判事項の

- 卷之三

意 汪

- 内部の点検、調整、修理は販売店にご相談下さい

卷之三

- 生才

するようお勧めいた

- 重いものをのせたりすると本製品が破損し、  
感電の原因となります。

卷之三

- アリ

- 卷之三





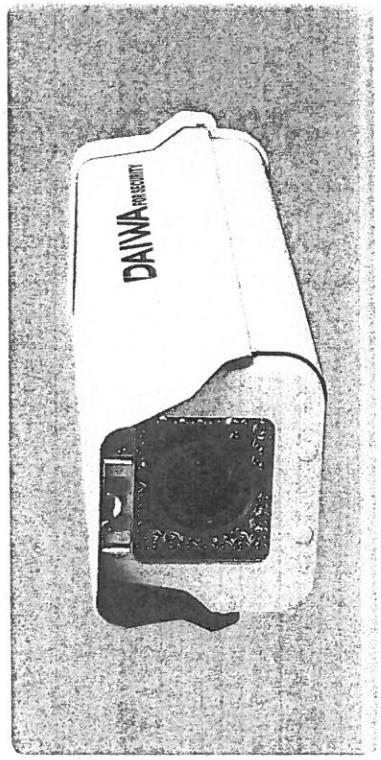
IR DAY NIGHT ANALOG HIGH DEFINITION COLOR CAMERA SYSTEM

HD-AHD

## HD-AHD SD録画付防雨型赤外線デイナイトカメラ(DC12V)

**SD-646IR**

### 取扱説明書



#### ■特長

- SDカード録画機能(常時、イベント、スケジュール、手動、書き出し)
- オンスクリーンディスプレイ(OSD)機能にプライバシーマスク4ゾーン設定可能
- 電源入力はACアダプター又は専用電源により供給
- イベント設定時0~10秒のプリ録画設定が可能
- 1280×720解像度の録画に対応
- デイナイト機能付(IRカットフィルタ方式)
- 3DDNR機能付
- 最低被写体照度:0.1Lux
- GPSによる時刻補正(GPSアンテナはオプション)
- 赤外線LED30個付

#### ■仕様

項目	詳細
有効画素数	130万画素 130(H) × 1049(V)
イメージセンサー	1/3"CMOS
映像記録方式 / 同期方式	NTSC方式 / 内部同期
映像出力	1.0Vpp / 75Ω
走査方式	2:1イントーレース方式
解像度 / S/N比	水平1000TV本 / 50dB以上
最低被写体照度	0.1Lux F1.4 (SENSUP: 0.001 Lux X30)
フレッカーレス機能	シャッターバレにて対応
デイナイト	AUTO / カラー / B/W / 外部 / OFF (IRカットフィルタ方式)
赤外線LED	30個 / 到達距離30m
カメラネス	オート(0~10)
AGC	AGC: Level Setting (0~15)
SENSUP	AUTO(x2~x256), OFF
逆光補正機能	OFF / BLC / HBC / ポワイトバランス
DNR	ATW / AWC / マニュアル / 室内 / 室外 / AWB
動き検知	ON / OFF (エリア4ヶ所)
フレーバーシー	ON / OFF (エリア4ヶ所)
デジタルワドマイミック	ON / OFF
映像反転	OFF / ミラー / V-Flip / 回転
音色	日本語 (全16ヶ言語)
レンズ	2.8mm~9mm F1.2 ※実効値 3.0mm~9mm CSマウント
遮光角度	水平 (H) 81.20~29.86°、垂直 (V) 51.48~17.06°
マイク	なし
I/Oセシナー1/2	無電圧接点 (ON/C切替時)、 TTL x 1
アラーム出力	オープンコレクタ出力 x 1 モーション検出
映画メディア	SDカード 1GB~32GB (SDHC)、64GB~128GB (SDXC)
録画部	解像度 / フレームレート 内蔵 モード モーション検出 再生 / スピード 再生、早送り、戻し、停止、コマズレ、一時停止 / x1/x2/x4/x8/x16/x32 再生 / LED (赤:録画表示、緑:録画中及び録画中、青:SDカード異常、未挿入/フォーマット中、消去・録画停止中) ストーナス(LED表示)
感熱補正	DC12V / 305mA (最大値 64.5mA)
電源 / 消費電流	動作温度 / 溫度 -10°C~50°C / 90%以下
一體化寸法 / 防水規格	140(W) x 108(H) x 37.0(D)mm / IP66
入出力端子	映像: BNC-J 電源: DC-、アーム: GPSアンテナ: φ 3.5- 付属品
リモコン / ラグネット取付ベース、六角ビス、六角レバー、GPSアンテナ (オプション)	

#### ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、必要なときに読めるよう大切に保管してください。

- 安全上のご注意 ●  
この表示は「安全」の意味で、製品を安全に正しく使用いただくため、お困りへの苦心や財産への損害を未然に防止するためには必ず表示を尊重して下さい。
- 表示マークについて ●  
この表示を確認して誤った動作をすると死傷する可能性があります。  
この表示を確認して誤った動作をすると死傷する可能性があります。  
人が機器を負う可能性のある物理的措置の発生が想定されます。

- △ 警告  
この表示を確認して誤った動作をすると死傷する可能性があります。
- △ 注意  
この表示を確認して誤った動作をすると死傷する可能性があります。

- △ 注意  
この表示を確認して誤った動作をすると死傷する可能性があります。

- △ 警告  
この表示を確認して誤った動作をすると死傷する可能性があります。

- △ 注意  
この表示を確認して誤った動作をすると死傷する可能性があります。

